

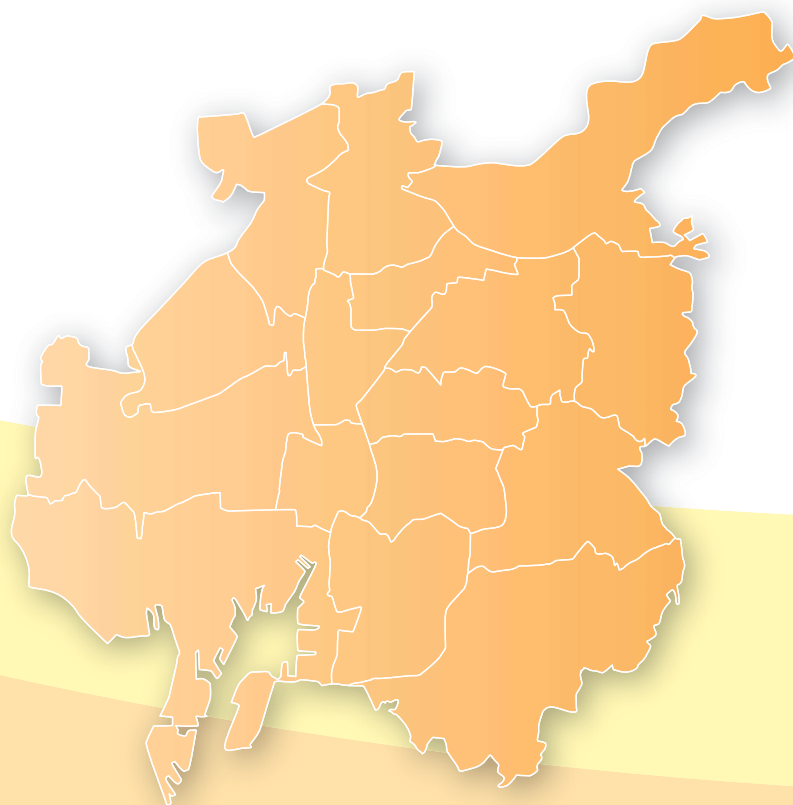
健康なごやプラン21

(第2次)

－中間評価－

概要版

～笑って、歩いて、健康づくりは まちづくり～



名古屋市

本市では、平成25年に健康増進法に基づく健康増進計画として「健康なごやプラン21（第2次）」を策定し、すべての市民が健康で心豊かに生活できる社会の実現に向けて、生活習慣病の予防、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図るとともに、安心して子どもを産み、ゆとりを持って健やかに子育てできる環境づくりの推進に取り組んでいます。

「健康なごやプラン21（第2次）」の計画期間は平成25年度から平成34年度の10年間としており、平成29年度は中間評価として、市民アンケート調査等による現状の把握と、今後の取り組みの方向性をとりまとめました。

目 次

ページ

1	健康なごやプラン 21（第 2 次）の概要	1
2	中間評価の方法	2
3	中間評価	3
4	分野別の主な課題	5
5	今後の取り組みの方向性	8
[資料]	目標の進捗状況と評価の一覧	9

注：平成31(2019)年5月に改元が予定されていますが、本計画ではわかりやすい表記とするため、平成31(2019)年度以降も「平成」を使用しています。

1

健康なごやプラン21 (第2次) の概要

(1) 位置づけ

健康増進法に基づく本市の健康増進計画として、国が策定した「健康日本21（第2次）」及び母子保健分野の「健やか親子21」の方向性を踏まえて策定しています。

(2) 目的

○すべての市民が健康で心豊かに生活できる社会をめざし、生活習慣の改善による生活習慣病の予防、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図ります。

（平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加）

○すべての親と子が健やかに暮らせる社会をめざし、安心して子どもを産み、ゆとりを持って健やかに子育てできる環境づくりの推進を図ります。

(3) 取り組みの方向

5 つの視点 での働きかけ	・生活習慣病の発症予防及び重症化予防の推進 ・社会環境の改善（多様な活動主体との連携、一人ひとりの社会活動への参加） ・世代に応じた生活習慣の改善 ・予防医療の推進（予防接種の推進） ・母子保健の推進
推 進 す る 1 4 分 野	<生活習慣の改善及び生活習慣病予防（10分野）> ①栄養・食生活 ②身体活動・運動 ③休養・こころの健康づくり ④たばこ ⑤アルコール ⑥歯の健康 ⑦糖尿病 ⑧循環器疾患 ⑨がん ⑩予防接種 <母子保健（4分野）> ⑪思春期の保健対策の強化と心身両面の健康づくり ⑫妊娠・出産に関する安全性の確保と健康づくり ⑬小児保健水準の向上 ⑭子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減

(4) 計画期間

計画期間は、平成25年度から34年度の10年間です。

(5) 推進体制

学識経験者、保健・医療関係者、職域・地域関係者及び市民委員等で構成する「健康なごやプラン21推進会議」を設置し、情報交換や健康づくりの取り組みに関する意見交換を行いながら推進しています。

2

中間評価の方法

(1) 評価の趣旨

平成29年度は、計画期間の中間年度にあたることから、目標・指標の進捗状況を把握し、評価するとともに、課題を分析し、今後の取り組みの方向性をまとめました。

(2) 評価の方法

平成28年度に実施した「健康に関する市民アンケート」^{注1}や「子育てに関するアンケート」^{注2}のほか、関連事業の実績等により、各分野の指標の進捗状況を把握し、AからEの区分で評価しました。

A	順調	計画策定時の値より改善しており、目標値に向けて順調に進んでいる、または目標値を達成しているもの
B	おおむね順調	計画策定時の値より改善しており、おおむね順調に進んでいるもの
C	やや遅れ	計画策定時の値より改善していない（横ばい）、または改善しているが、目標値に向けて遅れているもの
D	遅れ	計画策定時の値よりも悪化しているもの
E	評価困難	設定した指標又は把握方法が異なる等の理由により評価が困難であるもの

(3) 目標・指標の見直し

市の事業内容や国の制度等の変更、社会情勢の変化等により、見直しの必要が生じた目標・指標については、適切に見直しを行いました。

また、その他の関連する計画等により目標・指標を設定している事項については、整合性を図りながら、必要に応じて再設定しました。

注1：「健康に関する市民アンケート」平成28年11月～12月実施

調査対象者：市内在住の16歳以上の方 10,000人

回答者数：5,312人

注2：「子育てに関するアンケート」平成28年10月実施

調査対象者：3（4）か月児、1歳6か月児、3歳児の各健康診査対象者 計5,324人

回答者数：計4,590人

3

中間評価

(1) 平均寿命と健康寿命

ア. 平均寿命

(単位：年)

区 分		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
平均寿命	男	79.01	79.21	79.59	79.70	79.97	80.53	80.75
	女	86.27	85.89	86.07	86.14	86.25	86.35	86.76

注 1：平成22年から平成27年の平均寿命は、名古屋市健康福祉年報（人口動態統計編）より

注 2：平成28年の平均寿命は、平成29年12月25日に公表した値

イ. 健康寿命

(単位：年)

区 分		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
日常生活に制限のない期間の平均	男	70.42	—	—	70.88	—	—	—
	女	73.64	—	—	74.24	—	—	—
自分が健康であると自覚している期間の平均	男	70.38	—	—	70.79	—	—	—
	女	73.08	—	—	74.01	—	—	—
日常生活動作が自立している期間の平均	男	77.73	77.89	78.30	78.39	78.65	79.14	79.36
	女	82.89	82.53	82.90	82.97	83.17	83.20	83.58

注 1：「日常生活に制限のない期間の平均」及び「自分が健康であると自覚している期間の平均」は、国民生活基礎調査のデータを基に3年ごとに算定（平成28年の値は、平成30年度以降に算定予定）

注 2：「日常生活動作が自立している期間の平均」は、本市介護保険の要介護認定のデータを基に毎年算定

ウ. 平均寿命と健康寿命の差

(単位：年)

区 分		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
平均寿命と健康寿命の差	男	1.28	1.32	1.29	1.31	1.32	1.39	1.39
	女	3.38	3.36	3.17	3.17	3.08	3.15	3.18

注：健康寿命は、「日常生活動作が自立している期間の平均」

(2) 進捗状況の評価の概要

分 野		指標数	進捗状況				
			A 順調	B おおむね順調	C やや遅れ	D 遅れ	E 評価困難
生活習慣の改善及び生活習慣病予防	① 栄養・食生活	17	1			8	8
	② 身体活動・運動	14	3	1	1	6	3
	③ 休養・こころの健康づくり	5	2	1	1	1	
	④ たばこ	7	1	3	1	2	
	⑤ アルコール	5	3		1	1	
	⑥ 歯の健康	12	6	1	3	2	
	⑦ 糖尿病	7	4		3		
	⑧ 循環器疾患	11	4		7		
	⑨ がん	7	2	3	2		
	⑩ 予防接種	2	2				
母子保健	⑪ 思春期の保健対策の強化と心身両面の健康づくり	8	4		1	1	2
	⑫ 妊娠・出産に関する安全性の確保と健康づくり	4	1	1	2		
	⑬ 小児保健水準の向上	4			2	1	1
	⑭ 子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減	8		6	1	1	
計		111	33	16	25	23	14

プランで掲げた14分野の課題に対応する111指標のうち、49指標（44％）で、現状値が策定時の値より改善し、目標値に向けて「順調」または「おおむね順調」に進捗していると評価しました。

しかしながら、進捗状況が十分でなく、または悪化しているために、「遅れ」または「やや遅れ」と評価した指標も48指標（43％）あったことから、平成34年度の目標達成に向けては、さらなる取り組みの推進が必要です。

特に「栄養・食生活」、「身体活動・運動」といった、日常生活の中で、習慣として取り組む健康関連行動の分野において、進捗が遅れている指標が多く、検診等の事業の充実を図ってきた「歯の健康」や「がん」の分野は比較的、順調に進捗している指標が多い状況でした。

また、14指標（13％）については、計画策定時に設定した指標の把握方法等が現在と異なるなどの理由により、評価が困難となっていることから、目標・指標の見直しを行うこととしました。

4

分野別の主な課題

(1) 栄養・食生活 [分野1]

- ・野菜や果物の1日の必要量を摂取している市民の割合が少ない状況です。
- ・平成28年の国民健康・栄養調査の結果においても、野菜の摂取量は、愛知県の男性は全国最下位、女性は下位から3番目となっています。
- ・摂取量増加に向けて、野菜・果物の具体的な必要量を示した目標・指標を設定し、さらなる啓発を推進します。

(新たな目標・指標の設定)

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)
適切な量と質の 食事をする市民 を増やす	野菜を1日350g以上食べるように している人の割合	(76.9%)	37.8%	45%以上
	果物を1日200g程度食べるように している人の割合	(58.6%)	33.9%	40%以上

注1:「健康に関する市民アンケート」より

注2:策定時(平成23年度)の括弧内の値は、「野菜をたくさん食べるようにしている人」、「果物を食べるようにしている人」の割合

(2) 身体活動・運動 [分野2]

- ・運動習慣のある市民の割合が少ない状況です。
- ・市民が主体的・積極的に運動に取り組むことができるよう、インセンティブ(健康マイレージ)事業等の動機づけとなる取り組みと、地域や職域の団体等と連携した、身近な地域での取り組みや、働く世代が取り組みやすい健康づくりを推進します。

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況
運動習慣のある市民を 増やす	20～64歳	男性	23.6%	23.6%	34%	C
		女性	18.9%	17.9%	29%	D
	65歳以上	男性	43.5%	38.3%	54%	D
		女性	33.9%	31.6%	44%	D

注1:「健康に関する市民アンケート」より

注2:運動習慣とは、週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続すること

(3) たばこ [分野4]

- ・喫煙率は、全体的には減少しているものの、男性は減少していません。
- ・減少傾向が見られない男性、喫煙が習慣化する前の若い世代への啓発を強化します。
- ・国の受動喫煙防止対策の考え方を踏まえ、企業や店舗への啓発、保険者等との連携した取り組みを実施します。

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況
成人の喫煙率を下げる	成人の喫煙率	男性	25.7%	26.6%	19.4%	D
		女性	8.1%	7.2%	6%	B
		全体	16.0%	15.8%	12%	C

注：「健康に関する市民アンケート」より

(4) 歯の健康 [分野6]

- ・乳幼児期、学齢期のむし歯の状況は、順調に進捗している一方で、40歳、60歳の歯周病の状況は改善していません。
- ・成人期以降の口腔内の健康維持の大切さについて、さらなる啓発を推進するとともに、定期的な検診受診についての意識づけを図ります。

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況
むし歯と歯周病 を減らす	乳幼児（3歳児）にむし歯がない人の割合		88.2%	91.7%	90%以上	A
	12歳児 一人平均むし歯数		0.75本	0.52本	1.0本以下の 維持に努める	A
	進行した歯周炎が ない人の割合	40歳	67.8%	64.5%	77%	D
		60歳	50.8%	51.4%	60%	C

注1：乳幼児（3歳児）にむし歯がない人の割合は、3歳児健康診査の実績より

注2：12歳児一人平均むし歯数は、名古屋市立中学校における定期健康診断の実績より

注3：進行した歯周炎がない人の割合は、歯周疾患検診の実績より

(5) 糖尿病・循環器疾患 [分野7・8]

- ・特定健康診査及び特定保健指導の実施率は増加していますが、目標値からは乖離しています。
- ・就業世代が受診しやすい夜間帯の特定健康診査の充実や、特定健康診査を受診した当日に同じ医療機関で特定保健指導を実施する等、利用しやすい環境の整備が必要です。
- ・「第3期名古屋市国民健康保険特定健康診査等実施計画」と整合性を図り、新たな目標値を設定します。

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値	進捗 状況
特定健康診査・特定保健指導の実施率を向上させる	特定健康診査実施率	25.7%	28.6%	60% (平成29年度)	C
				38.6% (平成35年度)	新
	特定保健指導実施率	7.2%	7.6%	60% (平成29年度)	C
				12.6% (平成35年度)	新

注：名古屋市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導の実績より

(6) がん [分野9]

国の第3期がん対策推進基本計画において、がん検診受診率に加え、新たに「精密検査受診率」の数値目標が掲げられたことから、目標・指標を設定し、がん検診及び精密検査の受診率向上に向けた啓発を推進します。

(新たな目標・指標の設定)

目標及び指標			現状値 (平成27年度)	目標値 (平成34年度)
がん検診の精密検査受診率を向上させる	がん検診の精密検査受診率 (名古屋市実施分)	胃がん	73.7%	90%
		大腸がん	65.6%	
		肺がん	71.5%	
		子宮がん	61.8%	
		乳がん	84.8%	
		前立腺がん	57.8%	

(7) 子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減 [分野14]

平成27年度からの、国の「健やか親子21（第2次）」において重点課題とされた「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」に対応するため、新たな目標・指標を設定し、子どもの発達について、育てにくさを感じつつも、適切な対応ができる親の増加を図ります。

(新たな目標・指標の設定)

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)
子どもの発達について「育てにくさ」を感じつつも適切な対応がとれる親を増やす	子どもの発達が気になった時に相談できる機関を知っている人の割合	—	39.5%	100%
	発達障害を知っている人の割合	—	51.5%	90%

注1：子どもの発達が気になった時に相談できる機関を知っている人の割合は、「子育てに関するアンケート」より

注2：発達障害を知っている人の割合は、「健康に関する市民アンケート」より

5

今後の取り組みの方向性

○市の取り組みや市民の取り組みについての一層の普及・啓発

○市民一人ひとりが健康への関心や意識を高め、具体的な行動につなげることができるような働きかけ

健康に関する情報については、届けたい方の世代や特徴に合わせた内容と手段によって発信するとともに、情報を入手する手段が少ない方や健康に無関心な方にも情報が行き渡るようにしていかなければなりません。

多くの市民の方に周知できるように、インターネットやマスメディアの活用、地域や職域の団体と連携するなど、情報発信の手段を工夫し、効果的な普及啓発に取り組んでまいります。

○受動喫煙防止対策や目の健康等の新たな課題への対応

既存の取り組みにとどまることなく、新たな課題についても、国や社会の動向を注視しながら、市民一人ひとりの健康意識や行動につなぐ啓発の推進と合わせて、健康づくりに取り組みやすい環境の整備を検討します。

目標の進捗状況と評価の一覧

(分野1) 栄養・食生活

目標及び指標				策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し		
適正体重の子どもを増やす	全出生数中の低出生体重児（2,500g未満）の割合			10.0% (23年)	10.1% (27年)	減少傾向	D			
	肥満傾向（肥満度20%以上）にある子ども（小学生）の割合			5.7%	5.9%		D			
適正体重を維持している市民を増やす	適正体重を維持している人の割合	肥満者の割合	20～60歳代男性	25.1%	27.6%	15%以下	D			
			40～60歳代女性	12.9%	15.2%	10%以下	D			
		20歳代女性のやせの人の割合		20.2%	21.3%	15%以下	D			
朝食を毎日食べている市民を増やす	朝食を毎日食べている人の割合	小学5年生		89.1% (22年度)	82.0%	全国平均 (27年度)	E	変更		
		小学6年生		—	85.2%	90%以上 (32年度)	新			
		中学2年生		81.9% (22年度)	77.6%	全国平均 (27年度)	E	変更		
		中学3年生		—	81.1%	85%以上 (32年度)	新			
		20歳代	男性	42.3% (22年度)	49.7%	60%以上 (27年度)	E	変更		
			女性	50.5% (22年度)	64.4%	80%以上 (32年度)	新			
		30歳代	男性	58.0% (22年度)	61.7%	70%以上 (27年度)	E	変更		
			女性	67.3% (22年度)	76.8%	85%以上 (32年度)	新			
		適切な量と質の食事をとる市民を増やす	栄養バランスのとれた適量の食事をほとんど毎日とっている人の割合（1日のうち少なくとも1食）			55.4%	52.5%	65%以上	D	
			野菜をたくさん食べるようにしている人の割合			76.9%	—	85%以上	E	変更
野菜を1日350g以上食べるようにしている人の割合			—	37.8%	45%以上	新				
果物を食べるようにしている人の割合			58.6%	—	70%以上	E	変更			
果物を1日200g程度食べるようにしている人の割合			—	33.9%	40%以上	新				
塩分を控えるようにしている人の割合			63.2%	56.4%	75%以上	D				
低栄養傾向の高齢者を減らす	65歳以上のBMI20以下の人の割合			24.1%	21.7%	22%以下	A			

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直 し
輪（話）食 をする市民 を増やす	家族等の誰かと一緒に食事をする人の割合（1週間のうち3日以上家族や友人等と一緒に食事をする市民の割合）	82.7% (22年度)	79.0% (26年度)	90%以上 (27年度)	D	変更
				90%以上 (32年度)	新	

(分野2) 身体活動・運動

目標及び指標				策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
日常生活での歩数を増やす	一日の歩数	20～64歳	男性	7,383歩	8,452歩 (27年)	8,500歩	A	
			女性	6,753歩	7,299歩 (27年)	8,400歩	B	
		65歳以上	男性	5,534歩	6,366歩 (27年)	7,000歩	A	
			女性	5,323歩	4,049歩 (27年)	6,900歩	D	
運動習慣のある市民を増やす	週に2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続している人の割合	20～64歳	男性	23.6%	23.6%	34%	C	
			女性	18.9%	17.9%	29%	D	
		65歳以上	男性	43.5%	38.3%	54%	D	
			女性	33.9%	31.6%	44%	D	
	週に1回以上、運動・スポーツを実施している成人の割合			58.4%	56.9%	65%	D	
	週に3日以上運動・スポーツを実施している児童の割合	小学5年生	男子	62.4% (22年度)	—	増加傾向	E	変更
			女子	38.2% (22年度)	—		E	
	1週間の総運動時間が60分未満の子ども（小学校5年生と中学校2年生）の割合			—	13.4%	12% (30年度)	新	
要介護状態の高齢者の割合の伸び率を下げる	介護保険第1号被保険者における要介護・要支援者の割合			16.7%	18.3%	15.9%以下 (26年度)	D	変更
						21.5%以下	新	
骨粗しょう症検診の受診率を向上させる	骨粗しょう症検診受診率（名古屋市実施分）			6.0% (5,932人)	19.5% (19,532人)	18% (18,000人)	A	変更
						25% (25,000人)	新	
認知機能低下ハイリスク高齢者の把握者数を増やす	介護予防チェックリストにおける「認知症予防・支援」該当者数			16,713人	—	年々増加	E	削除
認知症高齢者の割合の伸び率を下げる	要介護・要支援認定「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者の割合			—	9.9%	12%以下	新	追加

(分野3) 休養・こころの健康づくり

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
睡眠を十分に取れていない人を減らす	睡眠を十分に取れていない人の割合		33.7%	39.2%	30%以下	D	
悩みを抱えず、周りの人や専門家に相談できるような考え方を浸透させ、相談機関の周知を図る	深刻な悩みを抱えたとき、誰かに（どこかに）相談する人の割合		73.4% (22年度)	80.5% (27年度)	80%以上	A	
	こころの病気に関する行政の相談窓口があることを知っている人の割合	保健所	23.4% (22年度)	32.0%	50%以上	B	
		精神保健福祉センター	10.5% (22年度)	12.8%		C	
自殺者数（人口10万人当たり）を減らす	自殺者数（人口10万人当たり）		21.1 (23年)	14.4	13以下 (30年)	A	

(分野4) たばこ

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
成人の喫煙率を下げる	成人の喫煙率	男性	25.7%	26.6%	19.4%	D	
		女性	8.1%	7.2%	6%	B	
		全体	16.0%	15.8%	12%	C	
未成年者の喫煙をなくす	喫煙する未成年者の割合	男性	0.0%	4.1%	0%	D	
		女性	2.6%	0.0%		A	
妊娠中の喫煙をなくす	妊娠中に喫煙する人の割合		4.7%	2.5%	0%	B	
健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う施設数を増やす	建物内全面禁煙実施施設数		2,321施設	3,246施設	5,000施設	B	

(分野5) アルコール

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
未成年者の飲酒をなくす	飲酒する未成年者の割合	男性	5.0%	1.4%	0%	A	
		女性	1.3%	1.2%		C	
生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人を減らす	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人）の割合	男性	21.6%	18.9%	18.4%	A	
		女性	9.6%	13.1%	8.2%	D	
妊娠中の飲酒をなくす	妊娠中に飲酒する人の割合		3.7%	1.3%	0%	A	

(分野6) 歯の健康

目標及び指標				策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
むし歯と歯周病を減らす	乳幼児（3歳児）にむし歯がない人の割合			88.2%	91.7%	90%以上	A	
	12歳児 一人平均むし歯数			0.75本	0.52本	1.0本以下の維持に努める	A	
	進行した歯周炎がない人の割合	40歳		67.8%	64.5%	77%	D	
		60歳		50.8%	51.4%	60%	C	
80歳で20本以上自分の歯を有する人を増やす	80歳で20本以上の自分の歯を有する人の割合			58.3% (24年度)	66.0%	68%	A	
	60歳で24本以上の自分の歯を有する人の割合			77.0% (24年度)	84.8%	87%	A	
生涯を通じて、口と歯が持つ機能を育て、向上・維持する	3歳児で不正咬合等がない人の割合			83.6%	82.9%	90%	D	
	定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の割合（55～65歳）			55.7%	59.2%	65%	B	
	過去1年間に歯科検診を受診した人の割合			38.7%	53.5%	65%	A	
	歯周疾患検診の受診率（名古屋市実施分）			3.8% (4,617人)	9.3% (12,031人)	12% (18,000人)	A	
	未処置歯がない人の割合	40歳		54.2%	60.8%	90%	C	
		60歳		64.7%	66.6%	90%	C	

(分野7) 糖尿病

目標及び指標				策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
特定健康診査・特定保健指導の実施率を向上させる	特定健康診査実施率※			25.7%	28.6%	60% (29年度) 38.6% (35年度)	C 新	変更
	特定保健指導実施率※			7.2%	7.6%	60% (29年度) 12.6% (35年度)	C 新	変更
メタボリックシンドロームの該当者や予備群を減らす	メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合※			28.7%	28.5%	25.8%	C	削除
特定保健指導の対象者割合を減らす	特定保健指導対象者の割合※			—	11.3%	10.8% (35年度)	新	追加
血糖コントロール不良の人を減らす	血糖コントロールにおけるコントロール不良者の割合※	HbA1c (N GSP値) が8.4%以上の人の割合	服薬中の人	0.62%	0.52%	0.53% 0.49% (35年度)	A 新	変更
			服薬なしの人	0.44%	0.37%	0.37% 0.34% (35年度)	A 新	変更

糖尿病治療を継続する人の割合を増やす	糖尿病治療継続者の割合※	HbA1c（NGSP値）が6.5％以上の人のうち、服薬治療している人の割合	52.4%	58.5%	61.8%	A	変更
					64.5% (35年度)	新	
糖尿病の人が増えないようにする	糖尿病有病者の割合※	HbA1c（NGSP値）が6.5％以上の人の割合	8.6%	8.0%	8.6%	A	変更
					7.2% (35年度)	新	

※名古屋市国民健康保険特定健康診査による

（分野８）循環器疾患

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
特定健康診査・特定保健指導の実施率を向上させる	特定健康診査実施率※	男性	25.7%	28.6%	60% (29年度)	C	変更
		女性			38.6% (35年度)	新	
	特定保健指導実施率※	男性	7.2%	7.6%	60% (29年度)	C	変更
		女性			12.6% (35年度)	新	
メタボリックシンドロームの該当者や予備群を減らす	メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合※		28.7%	28.5%	25.8%	C	削除
特定保健指導の対象者割合を減らす	特定保健指導対象者の割合※		—	11.3%	10.8% (35年度)	新	追加
脳血管疾患・虚血性心疾患による死亡率を下げる	脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり）	男性	50.3 (22年度)	32.8 (27年)	42.3	A	
		女性	24.8 (22年度)	21.4 (27年)	22.8	A	
	虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり）	男性	36.6 (22年度)	29.1 (27年)	31.5	A	
		女性	15.8 (22年度)	13.0 (27年)	14.1	A	
高血圧を改善する	収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合※	男性	28.7%	28.3%	25.8%	C	変更
		女性			26.3% (35年度)	新	
		男性			20.7%	C	変更
		女性	23.0%	22.7%	20.7% (35年度)	新	
脂質異常症の人を減らす	LDLコレステロール値が160mg/dl以上の人の割合※	男性	11.0%	10.9%	9.9%	C	
		女性	15.9%	15.9%	14.3%	C	

※名古屋市国民健康保険特定健康診査による

(分野9) がん

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
がんによる死亡者数を減らす	75歳未満のがんの年齢調整死亡率（人口10万人当たり）		88.3 (22年)	79.9 (27年)	78.5 (27年)	B	削除
がん検診の受診率を向上させる	がん検診の受診率 (名古屋市実施分)	胃がん	9.6% (28,338人)	19.9% ※(28,099人)	50% (143,000人) 50% (52,000人)	B 新	変更
		大腸がん	21.7% (64,029人)	25.1% (74,502人)	50% (143,000人) 50% (148,000人)	C 新	変更
		肺がん	17.0% (50,068人)	21.6% (63,979人)	50% (143,000人) 50% (148,000人)	C 新	変更
		子宮がん	51.5% (76,961人)	58.9% (85,652人)	65% (94,000人) 65% (96,000人)	A 新	変更
		乳がん	35.1% (33,483人)	47.8% (45,389人)	50% (48,000人) 50% (47,000人)	A 新	変更
		前立腺がん	25.8% (19,950人)	32.4% (24,789人)	50% (37,000人) 50% (38,000人)	B 新	変更
がん検診の精密検査受診率を向上させる	がん検診の精密検査受診率 (名古屋市実施分)	胃がん	—	73.7% (27年度)	90%	新	追加
		大腸がん	—	65.6% (27年度)	90%	新	
		肺がん	—	71.5% (27年度)	90%	新	
		子宮がん	—	61.8% (27年度)	90%	新	
		乳がん	—	84.8% (27年度)	90%	新	
		前立腺がん	—	57.8% (27年度)	90%	新	

（※胃がんの現状値は、国の指針改定に伴い、対象年齢、受診間隔が変更となりました。
平成27年度まで 40～69才 1年に1回 / 平成28年度以降 50～69才 2年に1回）

(分野10) 予防接種

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
ワクチンにより防ぐことのできる疾病の患者数を減らす	1医療機関当たりの年間患者報告数	水痘	30.1人 (23年)	12.3人 (28年)	減少傾向	A	
		流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	9.2人 (23年)	8.1人 (28年)		A	

(分野11) 思春期の保健対策の強化と心身両面の健康づくり

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
未成年者の喫煙・ 飲酒をなくす	喫煙する未成年者の 割合	男性	0.0%	4.1%	0%	D	
		女性	2.6%	0.0%		A	
	飲酒する未成年者の 割合	男性	5.0%	1.4%	0%	A	
		女性	1.3%	1.2%		C	
性感染症による身 体的影響等を正し く理解している未 成年者を増やす	性行動による性感染 症等の身体的影響等 について知識のある 未成年者の割合	性行動は相手の身体や 心を傷つける可能性が 高いと思う未成年者の 割合		—	増やす	E	
		自分の身体を大切にし ている未成年者の割合		—		E	
薬物乱用防止教室 等を実施する中学 校・高校を増やす	外部機関と連携した 薬物乱用防止教室等 を実施している中学 校・高校の割合	中学校	38.5%	50.0%	増やす	A	
		高校	75.0%	81.2%		A	

(分野12) 妊娠・出産に関する安全性の確保と健康づくり

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
妊娠中の喫煙・飲酒 をなくす	妊娠中に喫煙する人 の割合	4.7%	2.5%	0%	B	
	妊娠中に飲酒する人 の割合	3.7%	1.3%	0%	A	
妊娠11週以内での妊 娠の届出者を増やす	妊娠11週以内での妊 娠の届出者の割合	91.3%	91.6%	100%	C	
マタニティマークを 普及啓発し、利用す る人を増やす	マタニティマークを 利用して効果を感じ た母親の割合	51.7%	55.7%	80%	C	

(分野13) 小児保健水準の向上

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
具体的な事故防止の知識を 学び、家庭内の危険な物、 場所を見直して子どもの事 故防止に努める家庭を増や す	子どもの事故防止対 策を実施している家 庭の割合	75.2%	34.8%	100%	E	
心肺蘇生法を学び、応急処 置ができる人を増やす	心肺蘇生法を知って いる親の割合	15.1%	18.9%	50%	C	
	心肺蘇生法を適切に できる親の割合	10.0%	10.6%		C	
乳児をうつぶせ寝にする人 をなくす	乳児期にうつぶせ寝 をさせている親の割 合	0.3%	0.6%	0%	D	

(分野14) 子どものこころの安らかな発達と育児不安の軽減

目標及び指標			策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)	進捗 状況	見直し
育児についての 相談相手が いない母親を なくす	育児についての 相談相手がい る母親の割 合	3か月児健診 時	99.0%	99.8%	100%	B	
		1歳6か月児健 診時	99.3%	99.1%		D	
		3歳児健診時	99.1%	99.2%		C	
育児に参加す る父親を増や す	育児に参加す る父親の割合	3か月児健診 時	53.1%	56.1%	60%	B	
		1歳6か月児健 診時	48.4%	53.6%	55%	B	
		3歳児健診時	47.0%	49.4%	50%	B	
乳幼児健康診 査に満足する 人を増やす	乳幼児健康診 査に満足して いる人の割合	1歳6か月児健 診時	79.4%	88.7%	100%	B	
		3歳児健診時	76.9%	85.2%		B	
児童虐待によ る死亡をなく す	児童虐待による死亡数ゼロ						
子どもの発達 について「育 てにくさ」を 感じつつも適 切な対応がと れる親を増や す	子どもの発達が気になった時 に相談できる機関を知ってい る人の割合		—	39.5%	100%	新	追 加
	発達障害を知っている人の割 合		—	51.5%	90%	新	

(参考指標) 都市（まち）環境の健康

目標及び指標		策定時 (平成23年度)	現状値 (平成28年度)	目標値 (平成34年度)
大気環境と水環境の保全 ※「第3次名古屋市環境基本計画」より	大気汚染にかかる環境目標値（二酸化窒素）の達成率	88.9%	94.4%	100% (32年度)
	水質汚濁にかかる環境目標値（BOD）の達成率	88.0%	76.0%	
みんなで取り組む緑のまちづくり※「なごや緑の基本計画2020」より	主な緑のまちづくり活動に携わった市民の延べ人数	延べ 20,000人	延べ 173,000人 (23～28年度)	延べ 25万人 (23～32年度)
人と生き物が快適に暮らすまちづくり※「なごや緑の基本計画2020」より	市民1人あたりの都市公園等の面積	9.5㎡	9.5㎡	10㎡ (32年度)

健康なごやプラン 21

(第2次) -中間評価- 概要版

編集・発行 名古屋市健康福祉局
郵便 460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
TEL 052-972-2637 FAX 052-972-4152
平成 30 年 3 月

このパンフレットは再生紙（古紙パルプを含む）を使用しています。